

未来に向けて初めて気づいた。 両親がお互いを思い合っているということ。

母、87歳、認知症。
父、95歳、初めての家事。

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファイナダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に

帰る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

大反響のテレビドキュメンタリー、 待望の映画化。

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送されると、視聴者から再放送の希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。



港町呉は坂の多い町でもあります。買い物するにも一苦労。結婚以来、父と母はずっとここで暮らしてきました。

ひとり娘
 ドキュメンタリー監督
信友直子



1961年広島県呉市生まれ。東京大学卒業。在京キー局で数多くのドキュメンタリー番組を手掛ける。放送文化基金賞奨励賞、ニューヨークフェスティバル銀賞、ギャラクシー賞奨励賞など受賞多数。



涙。椅子から立てないくらいの衝撃でした。(56歳女性)

いまだに涙がとまりません。
 思いやりが人生を豊かにすること。
 忘れずに生きていきたいです。(49歳女性)

まるでお家にお邪魔しているように。
 心がキューっと苦しくなったり、
 ぼっ、と心が温かくなったり。(29歳女性)

お三方の声のなんと優しいこと。
 こんな優しさに満ちた声の響きを
 聞いたことはありませんでした。(74歳男性)

番組にいただいた
 感想の一部です

考えさせられます。夫婦とは家族とは老いるとは…
 娘さんの泣きながらの撮影にも泣きました。(55歳女性)

2025年大洗町生涯学習課映画上映会

2025年**2月15日(土)** トヨペット スマイルホール 大洗 (大洗町民会館)

①午前10時30分～ ②午後2時～ 【開場各30分前・上映時間102分・字幕付上映】

鑑賞料金 前売り **1,100円** (当日券/一般: 1,400円、小・中・高生: 800円)

前売券取扱所

●大洗町生涯学習課窓口(平日 9:00～17:00) ●デジタルチケット
 ●茨城映画センター(前売券予約専用TEL090-2641-3156/平日10:00～17:00)

※遠隔地の方はデジタルチケットもご利用できます。詳しくは二次元コードを読み込んでください。

●共催 ●大洗町教育委員会生涯学習課[TEL029-266-2442]

●共催 ●(有)茨城映画センター[TEL029-226-3156]

※チラシ持参で一般当日券 **1,200円**に割引

